



EARTH on EDGE

2020年度 EDGE-NEXT共通基盤事業
レジリエント社会構築を牽引する起業家精神育成プログラム

「眼前の事態」を捉えて 新しいレジリエンスを提案する

レジリエンス・ビジョンについて

&

プランニング・ワークシートの考え方&考え方

小樽商科大学アントレプレナーシップ専攻

学術研究員 三上 淳

プランニング・ワークシート

プランニング・ワークシート		社会的価値		経済的価値	
事業/ビジネス アイデア名:		大学名:		氏名:	
事業/ビジネスの社会的価値	予測した程度の変化:	ターゲットとなるユーザー (想定する地域や属性)	提供する価値	商品・サービスの機能	
	社会システムの脆弱性 (自助・共助・公助の視点も踏まえて)	事業/ビジネスの流れ (ビジネスの形態、ヒト・モノ・カネ・情報の流れ、どこまで図を生きかすか、OVCを参考に)			
事業/ビジネスの経済的価値	復興/防災・減災の具体的な取り組み	事業/ビジネスのステークホルダー		事業/ビジネスを支える経営資源	
		<input checked="" type="checkbox"/> 資金や原料の調達	<input checked="" type="checkbox"/> 法律や規制	<input checked="" type="checkbox"/> 新技術の登場	
		<input checked="" type="checkbox"/> 人材の調達や確保	<input checked="" type="checkbox"/> 競合や類似のビジネス	<input checked="" type="checkbox"/> 社会システムの変化	

今回のプログラムでお伝えしたい**考え方の全体像**であり

最終アウトプットを作成するための**シナリオ**でもある

フレーム自体は**課題解決の思考プロセス**が土台

事業／ビジネスを構想する時にありがちなミス



セグウェイはなぜ一般的に普及しなかったのか？

理由① 乗りこなすのが難しい

社長が川に転落し死亡

理由② 価格が高すぎて一般人の手に届かなかった

正規品は50～100万円

理由③ 交通整備や運転免許などの法の規制の問題

公道を走るには免許が必要、かつ走れるのは道幅 3 m以上
警察の道路使用許可も必要

理由④：そもそも使用用途がなかった

事業／ビジネスを構想する時にありがちなミス

- 「新しい取り組み」をすること自体が目的になる
- 「革新的な製品や技術」を生み出すことが目的になる
- 「お金が儲かるから」という理由だけでやる

基本は課題解決の思考プロセス

- ① 子や孫に残したい未来社会のビジョンを描く
- ② 未来社会のビジョンに照らして、現状を見る
- ③ ビジョンと現状のギャップを問題と定義する
- ④ その問題を引き起こしている核心的な原因を明らかにする
- ⑤ 核心的原因に手を打ち、ありたい姿に向かう上で欠かせない機能や価値を定義する
- ⑥ 価値を提供するために必要な仕組みを考える



考え方とシートの対応

プランニング・ワークシート

事業/ビジネス アイデア名: _____ 大学名: _____ 氏名: _____

社会的価値		経済的価値	
① 子や孫に残したい 未来社会のビジョンを描く		⑤ 核心的原因に手を打ち、 ありたい姿に向かう上で 欠かせない機能や価値を定義する	
② 未来社会のビジョンに 照らして、現状を見る ※今回は現状から想定される 未来 = 発災と復旧・復興		⑥ 価値を提供するために 必要な仕組みを考える	
③ ビジョンと現状（予測される未来） のギャップを問題と定義する		⑥' 仕組みの実現に欠かせない ヒト・モノ・カネをチェックする	
④ その問題を 引き起こしている 核心的な原因を明らかにする		⑥' 仕組みが実現可能かを 制約条件に照らしてチェックする	
⑤' 核心的原因に手を打ち、 ありたい姿に向かうために 取り組むべきテーマを設定する			